

# さくら 連携だより

公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院

Vol.09

## 部署紹介

- ・ 診療部 放射線科
- ・ 放射線技術科

## 連携施設紹介

- ・ たなかみのるクリニック
- ・ みね内科クリニック



## 特集

「当院独自の在宅療養支援と  
特定ケア看護師の役割」

放射線部門スタッフの皆さん

〒856-8561 長崎県大村市古賀島町133-22  市立大村市民病院

TEL : 0957-52-2161(代表) HP : <https://omura.jadecom.or.jp/>



# 部署紹介 - 診療部 放射線科



放射線診療部長  
木村 正剛



放射線技術科のスタッフと協力して撮影を行っています

## ■ 当科について

当院の放射線科は常勤医1名でCT・MRI、健診の上部消化管造影、マンモグラフィの読影を行っています。USや血管系のIVRは行っておらず、経皮経肝の堪能ドレナージなどのNon-vascular IVRを依頼があった際に行っています。CT・MRIは1ヶ月に800～900件ほど撮像しており、そのうち開業医の先生方からのご紹介が1割弱を占めています。

## ■ 医療被ばくについて

2020年4月に医療法の一部が改正され、医療被ばくの適正管理/診療用放射線の安全管理を行うことになりました。

1. 医療放射線安全管理責任者の配置
2. 診療用放射線の安全利用のための指針の策定
3. 診療用放射線の安全利用のための研修の実施
4. 被ばく線量の管理・記録
5. 過剰被ばくその他の事例発生時の対応
6. 医療従事者と患者間の情報共有

などが主な項目となり、1～4は放射線科側で行います。5は放射線科、主治医（依頼医）どちらも対応が必要で、6が主治医（依頼医）が関係するものになります。

主治医（依頼医）はCT、IVR、核医学の検査依頼をする毎に患者さんに被ばくについて説明しカルテに記載する必要があります。放射線検査における正当化（利益が不利益を上回る場合だけ放射線検査を実施）と最適化（診療上の価値が保たれる範囲内で線量を減らす）が主な説明内容となり、正当化に関する事項は必ず主治医（依頼医）が行うことになっています。最適化に関しては放射線技師や看護師等が説明しても良いことになっています。正当化の利益とは検査結果が診療に影響して得られる健康上の利益であり、例えば病気が診断されて治療方針が決まるとか、治療効果がわかり最適の治療方法を選択できるといったことになります。検査により単に情報が増えるだけでは利益にはなりません。不利益とは放射線被ばくによる潜在的有害事象であり、発癌リスクや皮膚障害などになります。医療法の一部改正から4年以上経ちますが、まだ完全には浸透していないように感じています。法律ですので、患者さんへの説明とカルテへの記載を忘れずをお願いいたします。

# 小さな願いを叶えるACP

## “夫婦で家で過ごしたい” ～当院独自の在宅療養支援～

患者の退院後からスムーズな在宅療養への移行のために、看護師による退院後訪問指導というサービスをご存知でしょうか。当院では積極的に退院後訪問をおこなっています。

長期入院されていた患者さんが134日ぶりにご自宅で、ご夫婦が再会されました。お互いの存在を確認するように手を取り合って涙をながされ、喜ばれていました。



### 在宅療養支援と特定ケア看護師の役割

☆当院独自(NDCによる)退院後訪問指導のメリットは3つです。

- ① 日常生活の状態観察の一環として身体診察以外に、**超音波画像検査**を実施による全身状態の観察評価が可能。
- ② 異常の早期発見から、定期外来受診を待たずに、主治医との情報共有から、臨時外来受診対応(状態悪化未然防止)の患者・家族へのご提案
- ③ 訪問看護師・ケアマネジャーとの情報共有と、質の高い看護ケアと在宅療養が継続可能なケアプラン調整のご提案

☆特定ケア看護師は手順書をもとに以下のような介入をしています。

腕から挿入する**末梢留置型中心静脈カテーテルをPICC(ピック)**と呼びます。腕から挿入できるため安全性に優れ、感染を起こしにくいなどの特徴があります。特定ケア看護師が挿入できるカテーテルです。PICCは、在宅医療の分野で患者の快適さと安全性を両立する重要な選択肢の一つです。在宅での使用には正しい手技と管理が必要ですが、特定看護師のサポートのもとで患者が自宅で治療を継続できるため、心理的な負担が軽減され、家族と一緒に過ごすことができ、48時間栄養療法(TPN)を在宅で確実に行うことができるなど、多くの患者さんにとって大きな恩恵をもたらします

辻 一成

特定ケア看護師/クリティカルケア認定看護師

私は特定行為(21区分38行為)全てが可能な看護師で、当協会独自名称(Nursing Designated Care :NDC)特定ケア看護師として、“**診る**”と“**看る**”を備え、診療支援部に所属と訪問看護ステーション”さくら”との兼務をおこなっております。



このように在宅でしか体験できない、特別な瞬間に立ち会う事ができ、看護師として心から喜びを感じています。今後も、「家族のつながり」の大切さを感じながら、自宅退院を目指す患者とご家族に寄り添い、特定ケア看護師として役割を果たしていきます。

# 市立大村市民病院 外来各科診療表

令和6年11月1日～

2診療科		月	火	水	木	金
内科		山田 康一 (総合)	応援医師 (総合)	清原 大輔 (総合)	山口 修平 (総合)	久保地 泰仁 (総合)
		野中 和樹 (総合)		山田 康一 (呼吸器)	久保地 泰仁 (総合)	野中 和樹 (総合)
		中村 直子 (糖尿病)			中村 直子 (糖尿病)	
		久保地 美奈子 (消化器)	芦田 隆一 (腎臓)	大塚 英司 (消化器)	芦田 隆一 再診患者のみ	芦田 隆一 (腎臓)
			久保地 美奈子 (消化器)	澤田 昌幸 (消化器/一般)	大塚 英司 (消化器)	
				※1中田 るか (神経) 14時～		
	透視	放射線科	放射線科	放射線科 (長大病院)	放射線科	放射線科
	内視鏡 (胃カメラ)	大塚 英司/古閑 悠輝	大塚 英司/清原 大輔	久保地 美奈子/担当医	久保地 美奈子/見陣 冬馬	大塚 英司/久保地 美奈子
	内視鏡 (大腸カメラ)	大塚 英司/久保地 美奈子	大塚 英司/久保地 美奈子	大塚/久保地(美)/澤田	大塚 英司/久保地 美奈子	大塚 英司/久保地 美奈子
	工コ一	臨床検査科	臨床検査科	臨床検査科	臨床検査科	臨床検査科
整形外科	新患	前田 和成	手術日	銅川 博文	前田 和成	銅川 博文
	再来【予約制】	銅川 博文		前田 和成	銅川 博文	
皮膚科	午前	笹岡 健哉	笹岡 健哉	笹岡 健哉	笹岡 健哉	笹岡 健哉
	16時～16時30分	笹岡 健哉			笹岡 健哉	
外科		劉 中誠 草野 徹	松尾 俊和 劉 中誠	見陣 冬馬 草野 徹	劉 中誠 古閑 悠輝	見陣 冬馬 草野 徹
	外来治療室 【予約制】	劉 中誠/草野 徹	劉 中誠/草野 徹	劉 中誠/草野 徹	劉 中誠/草野 徹	劉 中誠/草野 徹
	生理検査室 (乳腺外来)			劉 中誠 14時～15時【予約制】	劉 中誠 14時～15時【予約制】	
脳神経外科				※2堤 圭介 14時～		
循環器内科			谷岡 芳人	谷岡 芳人	谷岡 芳人	
		安岡 千枝		安岡 千枝	安岡 千枝	
			中富 大介			中富 大介
心臓リハビリ	【予約制】 13時30分～			谷岡 芳人		
心臓血管外科			中村 克彦			中村 克彦
血管外科	【予約制】	手術日	赤岩 圭一	手術日	手術日	赤岩 圭一
麻酔科	午前					蓮尾 浩
耳鼻咽喉科	午前	横川 恭子	横川 恭子	手術日	横川 恭子	横川 恭子
	14時～16時45分【再来患者】	横川 恭子	横川 恭子		横川 恭子	横川 恭子
眼科	午前11:00まで 【完全予約制】	休 診	吉村 遥香 (長崎大学)	休 診	休 診	上松 聖典 (長崎大学)
歯科口腔外科	午前	井口 聡/古川 浩平	井口 聡/古川 浩平	井口 聡/古川 浩平	鳴瀬 智史(長大)	井口/古川/山田 朋弘
	午後【予約制】	井口 聡/古川 浩平	井口 聡/古川 浩平	井口 聡/古川 浩平	休 診	井口 聡/古川 浩平
小児科	午前【予約制】		手島 秀剛	手島 秀剛	手島 秀剛	
	※3午後【予約制】		手島 秀剛	手島 秀剛	手島 秀剛	
婦人科	午前	松口 一道	松口 一道	松口 一道	松口 一道	※6 松口 一道
	午後【予約制】		※4 山口 純子	10時00分～	※5松口 一道 14時30分～16時30分	
泌尿器科	午前	安田 拓司	安田 拓司	休 診	安田 拓司	安田 拓司 11:00まで
放射線 (検査)		放射線科	放射線科	放射線科	放射線科	放射線科

※1…第2・第4水曜日のみ診療  
※4…第2・第4火曜日午前のみ

※2…第1・第3水曜日のみ診療  
※5…第3木曜日午後休診

※3…小児科外来の午後診療は【予約制】専門外来 (小児心臓疾患) です。  
※6…第3金曜日休診

各科受付時間

8時30分～11時30分まで【眼科外来は11時00分まで ※完全予約制】

休 診 日

土曜日・日曜日・祝日・年末年始 (12月29日～1月3日)

# 部署紹介 - 放射線技術科

## ■ 放射線技術科のご紹介

市立大村市民病院の放射線技術科は放射線技師8名、パート職員2名の構成で日々業務を行っています。

一般撮影、透視撮影、骨密度検査、マンモグラフィ、CT、MRIなどの装置があり月間におよそ一般撮影2000件、骨密度80件、マンモグラフィ150件、CT・MRI合わせて900件ほどの件数を実施しています。

放射線を用いる検査にあたり、被ばくが必要最小限となるような線量管理を行い無駄な被ばくを防ぎ、診断に必要な画質を担保するよう日々努力しています。



## ■ 当院のモダリティ紹介

### ①CT装置について

CT装置はシーメンス社製CT Definition Flashという機種になります。この装置の特徴は2つのX線管球を備えており、管電圧の異なるDual Energy撮影を可能としています。従来のCT装置は、一般的に管電圧120kVが最大エネルギーとなる連続X線が人体を透過した量を計測することで、画像を作成していましたが、それに対しDual Energy CT装置では、例として80kVと140kVといった異なる2種類の連続X線を用いて撮影し、それぞれから得られたデータを用いて解析を行うことで様々な画像を得ることが可能です。ヨード造影剤を強調したヨード密度強調画像は、臓器のわずかな血流量変化を強調してみることができます。造影効果の画像を増減させて造影効果を上げた画像や、逆に造影効果を下げた非造影画像も作成可能です。尿管結石の組成が判別可能で、これにより結石がカルシウム系なのか尿酸系なのか調べることが可能です。また骨髄の浮腫性病変の検出が可能のため、MRI禁忌の患者さんも骨挫傷や新鮮骨折の診断ができます。肺塞栓の疑いも造影検査にはなりますが塞栓部位を分離して色分けできることにより判別が可能です。以上のような症例においてDual Energy撮影を行っております。その他にも冠動脈CTや高精細モード撮影なども可能な装置です。

### ②MRI装置について

MRI装置はシーメンス社製MAGNETOM AERA1.5Tという装置になります。診断能の高い画質、検査時間の短縮が可能となっています。整形領域から脳梗塞など頭部急性期病変の鑑別まで幅広く撮像可能です。頭部においては最短5分での撮像が可能で、体動のある急変時の患者さんにも対応しております。再現性の高い心臓の造影検査も撮像可能です。全身Diffusion撮像(DWIBS)も実施しており、悪性腫瘍の診断に用いられている拡散協調画像を応用し、当院では前立腺がんの骨転移の検索目的に使用しております。PET-CT検査と比較すると、「放射線の被ばくがない」「検査時間が短い」「注射がない」などの利点があり、身体への負担が少ない検査として注目されています。



✎ 院長の田中 實 先生にお話を伺いました。

### ○たなかみのるクリニックさんの特徴を教えてください

当院は、内科全般の診療を行っているクリニックです。身体の不調を訴えて来院された患者さんの訴えを傾聴し、エコーなど様々な検査を実施しています。

(CTやMRIは市立大村市民病院へ紹介しています。)

検査をすることでがんの早期発見に努めています。



〒856-0817 大村市宮小路3丁目1334-1  
TEL: 0957-56-9887 FAX: 0957-56-9889  
院長: 田中 實 先生

### ○市立大村市民病院へのメッセージをお願いします

平成21年7月に古賀島町に開院したのは、市立大村市民病院の近くに開院することで、連携を取っていききたいという思いもありました。現在も患者さんの相談に応じて頂いたり、金曜日の夕方などでも、急な紹介を受けていただき感謝しています。今後もどうぞよろしく願いいたします。

✎ 院長の峯 豊 先生にお話を伺いました。

### ○みね内科クリニックさんの特徴を教えてください

当院は、内科全般の診療を行っているクリニックです。ここ4年間はコロナ感染により通常の医療状況といえず、患者さんにも大分、迷惑をかけていたと思います。

そのことで、やはり医療で大事なものは

- 1) 笑顔で挨拶すること
- 2) 患者さんの話をよく聞くこと
- 3) 待ち時間をなるべく短くすること
- 4) リラックスできる環境をつくること
- 5) 相手の立場を考えて対応すること

これらは日常生活でも大事なことですが、余裕がないとなかなかできないと感じました。

当院の目標として頑張っていきたいと思っています。

### ○市立大村市民病院へのメッセージをお願いします

市立大村市民病院には、いつも迅速に対応してもらい、私たちも安心して医療ができています。

また、患者さんを紹介後、早めに的確な情報提供書をいただき、安心と勉強になっています。先生方には負担をおかけしていると思いますが、お返事の文書をいただけることの信頼感と安心感があります。



〒856-0806 大村市富の原1丁目1101-3  
TEL: 0957-55-5070 FAX: 0957-55-5071  
院長: 峯 豊 先生